

シルバー人材センター



シンボリックマーク

ニュース

ゆんたく

〈発行所〉

公益社団法人 沖縄市シルバー人材センター

〒904-2155 沖縄市美原3丁目1番1号

電話番号 (098) 929-1361

http://www.okinawasisi.com

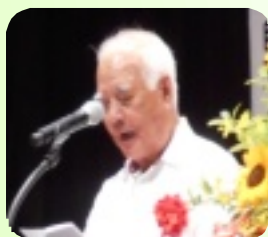
6月末現在の会員数557人

(男性341人・女性216人)



令和元年度定時総会開催 事業・決算報告承認

公益社団法人沖縄市シルバー人材センターの令和元年度定時総会が6月11日、沖縄市民会館中ホールで開催され、平成30年度の事業報告及び収支決算報告等が審議され、それぞれ承認された。



翁長盛正
沖縄県シルバー人材
センター連合会長



新屋勝
沖縄市議会議員
市民経済委員長



仲本兼明
沖縄市
副市長



上原秀雄
理事長



報告事項として、令和元年度事業計画及び収支予算について、理事会において承認された旨の報告があった。



定時総会は同日午後1時30分に開会。石原優子会員（越来・宮里中校地区）の司会で進行了た。

最初に、上原秀雄理事長が挨拶（2面に全文掲載）。続いて、仲本兼明沖縄市副市長をはじめ、新屋勝沖縄市議会議員並びに翁長盛正県シルバー人材センター連合会長が来賓祝辞を述べた。

議事進行の議長には、浜比嘉宗明副理事長を選出。総会成立の定足数は、会員総数574人中、351人（出席者205人、委任状146人）の会員が出席し、過半数を優に超えた。議案第1号から第3号まで審議、すべて原案通り承認決議された。

議事

議案第1号
議案第2号

平成30年度事業報告

平成30年度収支決算報告

議案第3号

監査報告

理事長に対する権限委任

報告

報告第1号

令和元年度事業計画及び
収支予算

定時総会理事長あいさつ(全文)



令和元年度定時総会を開催するにあたり、ご挨拶を申し上げます。本日の定時総会に多数ご出席をいただき、誠にありがとうございます。

また、ご来賓として、公務が多忙の中、桑江朝千夫沖縄市長ご名代の仲本兼明副市長、沖縄市議会議員の新屋勝市民経済委員長、沖縄県シルバー人材センター連合の翁長盛正会長をはじめ、多くの来賓の皆様にご臨席を賜り、厚く御礼申し上げます。私は、昨年度の定時総会後の理事会において理事長に就任し、おかげ様で無事1年が過ぎようとしています。

就任以来、当センターの課題である「会員の拡大と就業機会の拡充」について、役員や地区会員の皆様と十分協議し、目的を達成するために努めてまいりました。

平成30年度の主な事業実績は「契約金額」で約2億9千6百万円(約810万円の増)、「就業延人員」で48,198日(285日の増)となり前年度を上回ることができましたが「会員数」「受託件数」等については、前年度を下回る結果となっております。

特に、会員の拡大について当センターにおいては、平成30年度入会強化に取り組ん

だことにより、前年度に比べ新規入会会員が増加(18人の増)し、全体での減少傾向(6人の減)は緩やかにはなったものの、いまだ増加に転じるには至っていません。今年度も引き続き会員の入会強化事業に積極的に取り組んでまいります。

さて、時代は「平成」から「令和」へと移り、大きな変動期を迎えました。社会状況の変化も高齢者を取り巻く社会情勢も大きく変化しております。

少子高齢化が急速に進む中、定年年齢の引き上げや継続雇用など国の施策は、センターにとって新たな課題の提示と人手不足・労働力不足を補うための高齢者の就労促進が喫緊の課題として掲げられるなか、高齢者の働き方についてセンターとしてどのように臨むのが重要な課題であると思われます。

次に、当センター事業において最重要課題である「安全・適正就業」についてですが、平成30年度は6件の事故が発生しており、前年度に比べて4件の増加となっております。また、残念なことに死亡事故も1件発生しております。

安全でかつ適正な就業については、今後とも会員及び役職員が一体となり、事故の未然防止、発生事故の検証と今後の対策、会員への情報提供など事故の撲滅に取り組んでまいります。それには会員皆様、お一人お一人のご自覚と日ごろの健康管理によるものが大きな力になるものと考えております。

これからも地域社会のニーズを先取りし、会員の技術・能力を高め、仕事を通じて地域社会の発展に貢献していくことがセンターの担うべき重要な使命であり、それはとりもなおさず会員の皆様が生涯現役で健康寿命を延ばすことにつながります。

ご承知のとおり、当センターは昭和59年5月に県内2番目のセンターとして設立され、今年度で35年の節目の年となっております。

設立以来、請負・委任による就業を中心として事業の拡大を進めてまいりましたが、現在では「介護予防・日常生活支援総合事業」や「労働者派遣事業」のほか、企業の労働力不足の解消を目指した「高齢者活用・現役世代活用サポート事業」に取り組んでおり、時代のニーズに対応したシルバー就業の場の提供・拡大に取り組んでいるところであります。

今後とも、高齢者が長年にわたって培ってこられた知識や経験、技能を活かし働くことを通じて「生き生きと活動する社会」の実現を目指して、役職員一丸となって事業の推進に努め、就業、ボランティア活動をはじめ、活力ある地域社会の構築に寄与してまいります。

会員の皆様方のなお一層のご支援、ご協力をお願い申し上げます。さらには、本日で出席の皆様のご健勝とご活躍をご祈念申し上げます。挨拶といたします。

令和元年六月十一日

理事長 上原 秀雄

総会終了後 和やかに交流会

総会後の恒例の交流会は、「かぎやで風」で幕開け。「ごゑん節」「揚作田節」と続き、弁当班乙女達による健康ダンスで懇親の場を盛り上げた。又吉綱一理事による乾杯の後も盛沢山の民謡や舞踊などが披露され、最後は「カチャーシー」で幕を閉じた。



(右から) 宮城キク子さん、新垣秀子さんの「かぎやで風」で幕開け



三線同好会メンバー (右から) 仲尾次末子さん、池原豊光さん、島袋政夫さん、仲井間宗栄さん、徳盛猛さん、義元得一さん



仲井間さんの民謡「玉の命」



舞踊「浜千鳥」 仲宗根初子さん



舞踊「鷺鳥」 宮城キク子さん



民謡「おかあさん」 徳盛さんと新垣さん



弁当班の健康ダンス



交流会司会は
上江洲勝さん



又吉綱一理事
乾杯の音頭

(右から) 與儀キミ子さん、知名ヤス子さん、大城ノブさん
塩川初江さん、内里知子さん、島袋初子さん、玉栄よし子さん



島袋さんと新垣さんがしっとりと「二見情話」

地区活動

コザ中校地区

春のピクニックを満喫!



コザ中校地区（松江義男地区長）の北部ピクニックが5月28日、会員20人が参加して行われた。一行は、午前8時30分に集合場所のミュージックタウン音市場を出発、一路北部へ。最初の目的地ネオパークオキナワで、動植物を観察しながら散策を楽しんだ後、琉球ガラス工房を見学。帰途は、おんなの駅で食事をしながら会員の親睦・交流を深めた。「梅雨時のピクニックであったが、曇り空の中で楽しい一日を過ごすことができた」と参加者は話した。



唐眞辰夫さんと池宮隆さん（山内中校地区）が歌声を披露

混声合唱団「フォレスト」10周年記念コンサート



池宮隆地区長と唐眞辰夫前地区長（写真右から）

山内中校地区の池宮隆地区長と唐眞辰夫前地区長が参加する混声合唱団「フォレスト」（高安勝利団長）は、結成10周年を迎え5月26日、市民会館大ホールで「美さと児童園・沖縄こどもの国支援」チャリティ記念コンサートを開いた。

同合唱団は、指揮者を務め指導者でもある森山政和さんが平成21年に立ち上げ、南桃原公民館を拠点に定期演奏会の開催、地域活動への参加、慰問演奏など多彩な活動を行っている。

会員の唐眞、池宮さんの2人は、当初から団員として加わり、同日のコンサートでも混成、同声合唱に出演、聴衆を魅了した。

「接遇」と「熱中症対策」が基本 駐車場整理業務講習会を開催



幸地講師の講義に熱心に聞き入る受講生 (28日)

管理群班(嘉川宗義班長)は5月28・29の両日、シルバーワークプラザ会議室で今年度1回目の「駐車場整理業務」講習会を開催した。講師は東洋ワークセキュリティ沖縄株式会社(幸地護指導教育課長)の幸地護氏。駐車場の整理業務や接遇マナーの講義、実地研修を行い二日間で延べ33人が受講した。

幸地課長は「駐車場整理業務は、接遇の心得のほかに、炎天下での業務となるので熱中症対策を徹底すること。また、高齢者による交通事故が昨今多発しており、十分に気を付ける必要がある」と注意喚起した。



駐車場への案内について実地研修 (29日)

駐車場整理業務の事例を示しながら幸地講師が講話



6月の提案事項はみなし決議

左記議案について「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律第96条」及び「定款第38条」の規定により、理事全員が書面でもって同意の意思表示をしたため、理事会決議を省略し、みなし決議となった。

議案第1号「正会員の入会」について

4人(女性0人・男性4人)が承認され、その結果6月21日現在の会員数は557人(女性216人・男性341人)となった。
なお、5月の退会者は0人。

各項目とも前年比割れー5月実績ー

令和元年5月の主な実績では、会員数553で24人の減(▲4%)、就業実人員332人で11人の減(▲3%)、就業延人員4035人で100人の減(▲2%)、配分金約1999万円で約39万円の減(▲1%)、契約金額約2472万円で約86万円の減(▲3%)となった。(いずれも対前年比同月比)

無事故記録

平成31年2月13日
令和元年6月21日現在

125日

事故撲滅**7月は「安全・適正就業推進強化月間」**

当センターでは、16日午後1時30分から市農民研修センターで「**安全・適正就業推進大会**」を開催し、事故のない安全な就業環境づくりに強い決意を示す。そのため、会員多数の大会参加を呼び掛けている。

安全・適正就業推進大会**日時 令和元年7月16日(火)****午後1時30分****場所 沖縄市農民研修センター****全員参加で盛り上げよう**

7月1日から、シルバー人材センターの「安全・適正就業推進強化月間」がスタートした。平成30年度は6件の事故(受託事業4件、派遣事業2件)が発生したが、強化月間を機に事故撲滅を目指す。

令和元年度「安全・適正就業推進強化月間」実施要綱**目的**

シルバー人材センター事業を推進する上で、会員の健康管理と安全で適正な就業の確保は最重要課題である。

平成30年度においては、会員間による声掛けを行うなど安全意識の共有と各就業現場における事故防止対策を強化してきましたが、残念ながら会員車両による重篤事故が発生しています。また、事故件数についても6件の事故が発生しており、会員及び役職員が一体となり、より一層の事故防止対策に取り組まなければならない。

よって、7月の「安全・適正就業推進強化月間」においては、安全・適正就業の徹底強化を図り、事故のない安全な就業環境づくりを推進すべく次のとおり取り組む。

1 「安全・適正就業推進強化月間」の取組み**(1) 期間 令和元年7月1日(月)～31日(水)****(2) 取組内容**

① 「安全・適正就業推進大会」の開催

・ 日時 令和元年7月16日(火)

午後1時30分

・ 場所 沖縄市農民研修センター
・ 横断幕やのぼり等の掲揚

③ 県シルバー連合主催の「安全大会」等への参加

④ その他、安全講習会等の開催

2 安全スローガン

平成29年度～平成31年度シルバー人材センター全国統一安全就業スローガン

『**事故防止 急ぐな あせるな 気を抜くな**』

3 安全・適正就業への取組み

安全・適正就業の取組みについては「安全掲示板」「ホームページ」「ニュースゆんたく」等を活用した情報の提供を行うとともに、会員自身の健康管理と事故防止対策の意識高揚を図るための取組みを行う。

(1) 安全就業

ア 就業前のラジオ体操と作業ミーティングを徹底し、会員の健康状態を把握
イ 就業現場の「安全巡回パトロール」の実施強化

ウ 安全衛生教育及び各種講習会の充実・強化
エ 刈払機、機械器具及び安全保護具等の点検整備の実施強化

オ タイヤ止め使用の徹底と「高齢運転者等に係るガイドライン」の活用

カ 「安全就業ハンドブック」「安全・適正就業マニュアル」等の配布と活用

(2) 適正就業

ア 「適正就業ガイドライン」を活用した、適正な就業の徹底

イ 臨時的・短期的・軽易な就業の徹底
ウ 発注者からの「指揮命令」や「混在就業」等の排除

エ 「受注票」「契約書」「請書」等における不適正な記載の確認及び就業実態の自主点検

健康
講話「誤嚥性肺炎」
高齢者は要注意!!

厚労省の発表によると日本人の死亡原因の1位はがん、2位が心疾患、3位が高齢化に伴う肺炎（誤嚥性含む）となっています。その中で肺炎、特に食べ物など飲み込みの機能低下による誤嚥性肺炎は高齢者に多く発症しています。



中部徳洲会病院
齋藤佑太 言語聴覚士

高齢者にとって、怖い病気であり、誤嚥性肺炎についてよく理解し、予防と日頃から健康管理に役立てましょう。

～摂食・嚥下障害とは?～

食べ物を口まで運び、口に取り入れ、咀嚼し、飲み込むという食事行動の問題



食べることの障害

～誤嚥とは?～

- ①食べ物が誤って空気の通り道へ入ってしまう
- ②つばを飲み込む際に、その中の細菌が肺に入ってしまう



誤嚥性肺炎

～ムセ込みのない誤嚥～

ムセ込みは、空気の通り道に入ってしまった物を外に出す為の防御反応であり正常な反応。しかし、高齢者はこの反応が低下している事がある。誤嚥をしてもムセ込みのない場合、あるいはムセ込みが非常に遅れる場合



不顕性誤嚥

高齢者に多い摂食・嚥下の問題

- ・歯の数の減少
- ・噛む力、飲み込む力の低下
- ・口の中が乾燥しやすくなる
- ・味覚の低下
- ・のど仏の位置の高さが低くなる
- ・呼吸の力が弱くなる
- ・環境の変化
- ・食生活への意識の低下

注意して欲しい食品②

- 口の中にはり付くもの(もち・のり・海藻類など)
- 水分と固形物に分かれるもの(味噌汁・果物など)
- 繊維の多いもの(ごぼう・ふき・小松菜など)
- 粒が残るもの(ナッツ類・大豆・枝豆など)

注意して欲しい食品①

- サラサラした液体(水・お茶・ジュースなど)
- すっぱいもの(酢の物・柑橘類など)
- パサつくもの(焼き魚・ゆで卵・パンなど)
- バラバラになるもの(かまぼこ・ひき肉など)

新入会員紹介

6月21日付で4人(女性0人・男性4人)が新会員として入会しました。地区会員の皆さんよろしく。

平田 嗣憲 (越來・宮里中学校地区)
稲福 政正 (安慶田中学校地区)
小橋川 助芳 (山内中学校地区)
島袋 秀範 (美里中学校地区)

「刈払機取扱作業者に対する安全衛生教育」のお知らせ

「技術・技能及び安全面の向上を目指す」

・開催日 令和元年7月24日(水)
午前9時～午後4時
・場所 シルバーワークプラザ
会議室

・参加希望者は7月22日(月)までに事務局へお申し込みください。

「全国统一スローガン」
「事故防止、急ぐな、あせるな、気を抜くな」

仲間を募集しています！



公益社団法人
沖縄市シルバー人材センター

約700名の会員が、就業や社会奉仕活動等ががんばっています。

ひゃみかち!!

●お問い合わせください。

電話 (098) 929-1361

◇7月の予定◇

- ・10日(水) 午前10時
新会員入会説明会
- ・16日(金) 午後1時30分
安全・適正就業推進大会
- ・23日(火) 午前10時
理事会
- ・24日(水) 午前9時
刈払機取扱い作業者
に対する安全衛生教育

編集後記

かつて、中卒者などの若年が「金の卵」としてもてはやされ、高度経済成長時代の労働力を支えた。時代は変わって、少子高齢化の現在「銀の卵」なるものがある。人手不足から今の困憊いわゆるシルバー世代の雇用が様々などころで増え、その増加率は男性より女性が高いそうだ。70・80代でサババンジ！である。

翻って、会員の減少傾向が依然として続く当センターでは、このほど女性部会を立ち上げた。高齢者は元氣な女性が多い中で、新規入会の会員増加につながれば…と考えたのである。

編集

東條 正躬
大城 博